

I. 事業の背景・目的

近年、科学技術人材育成の大きな課題として、自らの専門分野の位置づけを社会活動全体の中で理解し、現実的課題の中から主体的に問題設定を行い、それに取り組む能力のある「高度専門人材」の育成が急務であるとの認識が、大学及び産業界の双方で高まっています。

「派遣型高度人材育成協同プラン」では、これらの要求に応えるため、これまでの主として就業体験や職業意識の形成を目的としたインターンシップとは峻別し、産学が人材の育成・活用に関して建設的に協力しあう体制を構築することにより、社会の抱える諸問題や産業界の取組を理解し、知的基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を育成する、これまでにない新たなコンセプトのインターンシップの開発を文部科学省が公募したものです。

II. 事業の概要

- 応募対象；修士課程（博士（前期）課程を含む）等の教育課程において、科学技術分野及びそれに関連する人材を育成する観点から、産学が協同して、企業等の現場を活用した「高度専門人材」の育成を行う新たなコンセプトのインターンシップの開発を目指した教育プロジェクト。
- 申請件数；単独及び他の大学と共同で実施する教育プロジェクトそれぞれ 1 件まで。
- プログラムの実施期間；概ね 3 ヶ月以上。
- 事業の実施期間；原則として 5 年間（2 年経過後に中間評価を実施）。
- 事業規模；事業経費の上限額は年間概ね 1 千万円程度（5 年間継続）とし、選定件数は、10 件程度を予定。

III. 本学が選定された教育プロジェクト

- 名称；**大学と企業とで育てる創薬化学高度人材**
- 研究科；筑波大学大学院 数理物質科学研究科 化学専攻
- 教育プロジェクトの概要

大学院における化学分野の基礎教育を受けた学生について、大学と創薬化学企業が連携して実施するインターンシップを通じ、「創薬化学の最先端技術と企業論理を備えた企業研究者」を育成する教育システムを開発する。本プロジェクトでは、企業における研究では重要であるが大学では扱わない課題から組み上げた複数の履修コースを選択する型の実習教育と、専攻全体の学生を対象とする事前事後教育が特色となる。

大学と企業とで育てる創薬化学高度人材

- 育成したい人物像:「創薬化学の最先端技術と企業論理を備えた高度専門人材」
- 現状の大学院化学教育では扱わないが、創薬化学企業における研究では必須である課題の実践的なトレーニングを実施
- 創薬化学の開発研究が概観できるよう、いくつかの課題を組み合わせた複数の履修コースを設定

